

# 会 議 結 果 報 告 書

令和5年10月19日

会議の名称	令和5年度第2回志木市立図書館協議会
開催日時	令和5年10月19日（木）15時00分～16時30分
開催場所	柳瀬川図書館 2階 視聴覚室
出席委員	原藤光委員（会長）、竹前榮二委員（職務代理）、佐藤淳委員、 木村幸子委員、加藤紗千子委員、矢部英子委員、石川敬史委員 (計 7人)
欠席委員	阿部剛委員、亀井沢真喜子委員、西浦建貴委員 (計 3人)
説明員職氏名	(柳瀬川図書館) 桜谷館長 (いろは遊学図書館) 樺嶋館長 (宗岡公民館) 佐野館長 (宗岡第二公民館) 吉田館長 (計 4人)
議 題	(1) 市内図書館図書室の概要について (2) 令和5年度志木市立図書館の事業概要について (3) その他
結 果	会長に原藤 光委員が選出される。 会長職務代理に竹前榮二委員が指名される。 (傍聴者 0人)
事務局職員	早川主査

## 審議内容の記録（審議経過、結論等）

### 1 開 会

2 任命書交付（柚木教育長より交付）

3 あいさつ 柚木教育長

4 委員の自己紹介及び職員紹介

5 会長の選出及び会長職務代理の指名

（仮議長に桜谷柳瀬川図書館長が就く）

- ・ 矢部委員から 会長に 原藤さんを推薦する意見が出る。
- ・ 仮議長 の問いかけに、複数の委員から「同異議なし」の声が上がる。

会長に原藤 光委員が選出される。

また、原藤 会長より 竹前榮二委員が 会長職務代理に 指名される。

### 6 議事

（1）市内図書館図書室の概要について

※配布資料をもとに事務局より説明

会長）市内図書館図書室の概要について、何か意見はあるか。

委員）令和4年度利用統計についてだが、コロナウイルス感染拡大時と前と後では、貸出冊数の増減はどのようになっているのか。

説明者）令和2年度は、4月と5月の2ヶ月間、コロナウイルス感染拡大防止のため、休館し、その理由から減少した。令和3年度は、休館もなく増加した。また令和4年度は、コロナウイルスが5類に緩和されたことから、旅行など別の娯楽にも利用が分散し、少し減少した。

説明者）昨年、いろは遊学図書館は空調改修工事のため、2ヶ月間臨時休館し、その影響で減少した。

委員）休館中もインターネットで予約した資料を他の図書館で受け取りすることは可能だったのか。

説明者）可能だった。いろは遊学図書館の休館中の2ヶ月間は、いろは遊学館に予約で受付をした資料の受渡ができる臨時サービス窓口を設置した。

委員）利用統計について、宗岡地区の利用資料数が柳瀬川図書館やいろは遊学図書館に比べ、かなり少ない結果になっているが、要因はどのようなことか。

説明者）宗岡公民館は、図書館に比べ蔵書数の違いあり、貸出もそれに伴い少ない。

説明者）宗岡第二公民館も同じく、図書館に比べ蔵書数の違いあり、貸出もそれに伴い少ない。また閉館時間も17時なので、子どもや高齢者の利用が多く、若い人の利用が少ない。

委員) 利用者数というのは、貸出をした人数なのか。

説明者) そうである。貸出をした人数なので、来館した人数ではない。雑誌や新聞の閲覧だけという利用もあるが、入口でカウントができないので、絶対人数の把握というのは難しい。

会長) 蔵書の規模によつての違いや来館者の人数だけではないので、今後宗岡地区の公民館図書室の利用がどうすれば、さらに増えるか検討して頂きたい。

委員) 宗岡地区の公民館図書室は、駐車場がどちらもあり、小さい子どもを連れて行くには非常に重宝であるし、コンパクトで探しやすいというメリットを感じる。

委員) 図書館は資料を借りるという目的だけではなく、コミュニケーションの場でもあるから、来館者を把握するという意味では、入口でカウントできると良いと思う。

委員) 図書館利用でいうと、数字より質をよくすることに努めた方が良いと思うので、リラックスできて、居心地のよいスペースにするのが理想的であろう。

会長) 柳瀬川図書館は単体施設であるし、いろは遊学図書館は学校との複合施設であったり、規模や特質の違いはあるが、館それぞれが特色を生かして、利用の活性化に繋がると良い。

説明者) 宗岡第二公民館図書室は、児童の利用が多く、新着本などをリクエストしてまで借りるというよりは、直接手に取って選ぶ利用者が圧倒的に多いと思われるので、利用者の違いもあると思う。

説明者) 宗岡公民館図書室は、図書室の前のロビーで新聞や雑誌の閲覧ができ、それだけを利用する方も多い。

委員) 資料4ページにリクエストで、来館とWeb予約の違いはどのようなことか。

説明者) Web予約とは、市で所蔵している資料について、ご自宅などでパソコンやスマートフォンのインターネットによって図書館HPから予約した処理数である。また館内のOPACという資料検索機から予約した処理数も含まれる。これに対し、来館予約というのは、市内で所蔵していない資料、新刊本など出版されたばかりの資料など、図書館HPを検索しても出てこない資料の予約である。またインターネットにあまり馴染みがないお年寄りなどから紙のリクエストカードで出された処理数も含まれる。

委員) 志木市の施設を日頃利用していると、公民館と図書館が近いということを非常にメリットとして感じていて、いろは遊学館や公民館でイベントを開催している時に、大型絵本等をすぐ借りられて、非常に助かっている。

会長) 数字だけに拘らず、館それぞれが特色を生かして、より良い施設運営に今後も努めて頂ければと思う。

(2) 令和5年度志木市立図書館の事業概要について

※配布資料をもとに事務局より説明

会長) 令和5年度志木市立図書館の事業概要について、何か意見はあるか。

委員) 柳瀬川図書館について、予算概要のその他が、7千7百万円あって、いろは遊学図書館の3倍くらいの金額で非常に多いが具体的に何の経費なのか。

説明者) 市内4館室で使用している図書館システムの保守及び賃貸借料は、柳瀬川図書館が一括して支払っている。また柳瀬川図書館は単館の施設なので施設管理の経費がかかるが、いろは遊学図書館は施設管理の経費がいろは遊学館で管理しているので、その分の経費は含まれない。また公民館図書室は指定管理なので、施設管理費が含まれない。

委員) 利用者カードを作れる年齢制限はあるのか。

説明者) 年齢制限はない。未就学児は、保護者の身分証明書の確認で利用者カードを発行できるので、幼いうちから自分で選んだ本を自分のカードで借り、小学生になったら1人でも借りに来てもらいたいと考えている。

(3) その他

説明員) 現在の図書館協議会委員の任期は令和7年8月31日で満了となる。